

# 市自治会連合会 「市政懇談会」

市自治会連合会（自戸英行会長）主催による「市政懇談会」が11月22日、柏ふるさと交流センターで開催され、自治会長ら46人が出席。よりよいまちづくりへ向け、それぞれのテーマで福島市長や市の幹部職員と意見を交換しました。



## 縄文を醸し出すまちづくり に向けた取り組みは

鶴野自治会

会長 葛西 貢造 氏



縄文遺跡を将来に残していくことは貴重な事業。世界文化遺産登録が実現した場合、市は今後の地域づくりをどういう方向にもっていくのか。

（回答）

平成21年1月5日に「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産候補としてユネスコの暫定リストに記載されてから、関係団体と連携して登録に向けて取り組んできました。特に、NPO法人つがる縄文の会や木造高校のボランティアガイドの皆さんには、情報発信や様々なイベントの開催など大変感謝しているところです。

今年7月には、国内の世界遺産推薦候補の一つとして選ばれましたが、残念ながら11月2日の発表で縄文遺跡群の世界文化遺産の推薦は見送られました。

た。来年は、ぜひとも世界遺産登録への道を描きたいと考えています。

現在市では、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産である田小屋野貝塚と亀ヶ岡石器時代遺跡の保護・調査研究および有効活用を主要施策に据えています。田小屋野貝塚と亀ヶ岡石器時代遺跡がある屏風山地域は、多数の縄文時代遺跡が分布することから、その国土と景観を将来的に保全していく必要があります。

このことから、つがる市では平成31年度に市内全域を対象として景観条例を策定する予定です。特に、史跡田小屋野貝塚と亀ヶ岡石器時代遺跡の周辺地域は重点区域として位置づけたいと考えています。

今後とも、地域住民のご理解とご協力をいただきながら、現在の暮らしと「縄文人が見た風景」との調和を図っていく予定です。

行政だけでなく、各種団体や金融機関、地元企業らを巻き込んだプロジェクトチームを結成するなどして、効果的な発信を市内外にしていけるべき。住民一人一人がまちづくりに参加するような施策を期待します。



## 公園の安全管理について

林自治会

会長 竹内 雅彦 氏



住民の憩いの場である公園で、男の子が鉄筋で目を負傷するというニュースがあった。市が管理している公園で、遊具や設備の点検は、どのように行っているのか。

(回答)

市内22カ所の農村公園のうち、遊具が設置されているのは14カ所で、今年度一斉に遊具の保守点検を行いました。危険な遊具は使用禁止とし、必要に応じて撤去も検討しています。

一般公園は、3カ所に遊具を設置。危険性がある遊具はその都度管理者の点検報告を受け、修繕等を実施しています。また、冬季を迎える前に職員が目視点検を行い、修繕が必要な箇所については、早急に対応しています。

## 立ち木の管理等について

下古川自治会

事務局 瓜田 武之 氏



神社の木が樹齢を重ねるにつれ腐食し、参拝者への事故が心配。高所の枝払いなどは業者へ依頼せねばならず、費用の面など大変苦慮している。神社の立ち木の管理責任は誰が負うのか。

(回答)

立ち木は不動産として取り扱われるため、土地の所有者である宗教法人や神社庁、個人が適正に管理する義務を負います。ただし、所有者の変更登記がされていないような場合には、実際に神社を使用している氏子総代や地区の住民に管理義務が及びます。

市ではパトロールにより樹木・立ち木の異常発見に努めているか。

(回答)

市が管理する施設や財産については、それぞれ所管する部署が適正に管理しています。遊休地や廃止となった施設についても、建物に損傷がないか、敷地内の立木に倒木の恐れがないか定期的に巡回し、異常を発見した場合、早急に対応しています。

## 防犯カメラの設置について

横町町内会

会長 粕谷 光彦 氏



全国的に凶悪な事件、事故が発生しているため、通学路や主要道路交差点等に防犯カメラを設置してはどうか。

(回答)

犯罪の未然防止や検挙に効果がある認識しており、通学路等への防犯カメラの設置は、前向きに検討していきます。一方で、プライバシーの保護と

の調和に十分配慮する必要があります。

また、防犯パトロール車での巡回を強化するとともに、防犯パトロール車のドライブレコーダーの設置を検討するなど、地域ぐるみで犯罪の抑止に努めてまいります。

防犯カメラの設置に充てることができるときの補助金や助成金の制度はあるか。

(回答)

自治会が設置する場合は、自治組織活動助成事業で設置することは可能です。ただし、青森県が策定したガイドラインに沿って、適正な設置と運用に努めていただくこととなります。



テーマについて考える出席者